

浜通りにおける「ふくあかり」高品質・安定生産技術

福島県農業総合センター 浜地域研究所

1 部門名

普通畑作物－小麦－施肥法

2 担当者

斎藤隆・朽木靖之・江上宗信

3 要旨

浜通りは福島県内でも麦類の作付けが多く、うどんへの加工など6次化の取り組みが進んでいるが、原料となる小麦のタンパク含量が少なく、加工適性が低いことが課題となっている。そこで、小麦品種「ふくあかり」を用い、品質ランク基準値(タンパク含量9.7～11.3%)と収量(50kg/a)を目標に、窒素肥料の増肥による改善を図った。

(1)基肥－幼穂形成始期－出穂期の窒素施肥により、いずれの区でもタンパク含量は品質ランク基準値に収まり、目標収量の50kg/aに達した(表1)。また、追肥の量を増肥すると、増収となり、タンパク含量も増加した。

(2)基肥窒素を増肥すると、初期生育は旺盛であったが、千粒重が軽くなり品質も下がった(表1)。

(3)以上のことから、浜通りにおいて小麦品種「ふくあかり」を栽培する場合、基肥1.0kg/a＋幼穂形成始期0.3kg/a＋出穂期0.3kg/aの窒素施肥により、タンパク含量9.7～11.3%(品質ランク基準値)、収量50kg/aを確保できた。

表1 小麦「ふくあかり」の収量と品質(2012～2013年)

区	窒素量(kg/a)			倒伏 程度	穂数 (本/m ²)	精子実重 (kg/a)	千粒重 (g)	外観 品質	タンパク 含量 (%)
	基肥	幼穂形 成始期	出穂期						
1 対照	1.0	0.3	0.3	微	491	55.0	39.0	4	10.1
2 追肥増1	1.0	0.5	0.3	微	550	61.1	38.5	4	10.4
3 追肥増2	1.0	0.3	0.5	少	563	62.2	39.0	3	11.0
4 基肥追肥増1	1.5	0.5	0.3	少	594	50.0	36.6	5	10.9
5 基肥追肥増2	1.5	0.3	0.5	少	553	57.2	37.5	4	11.1

注1) 播種量0.84kg/a、ドリル播(畦幅30cm)

注2) 倒伏程度は無・微・少・中・多・甚の6段階評価

注3) 精子実重及び千粒重は水分12.5%換算

注4) 精子実重の篩目は2.0mm

注5) 外観品質は相双地区検査員協議会による7段階評価(1:1等上～6:2等下、7:規格外)

注6) タンパク含量はスミグラフで測定

4 主な参考文献・資料

(1) 平成24年度～25年度センター試験成績概要